

おてら

報恩講

十一月十六日(月)

午前十一時より

おときは中止致します



浄土真宗の開祖親鸞聖人の御祥月御命日に
「宗祖のご苦勞を偲び感謝し、そのみ教えを
味あわせていただき、明日の私の生きる糧と
させていただきます。法要をお願いします。」

ぜひご参拝下さい。

常例十六日講
毎月十六日午後一時より
お経練習・法話会
写経会
毎月第二・四金曜日
午後一時より

ポストコロナ

(コロナ以後)

住職 蒲原 靈英

新型コロナウイルスの終息は未だ見え、まだまだ多方面に渡り色々な形で多大な損害が吸んでいる状況です。しかし、この目に見えないウイルスのせいで、皮肉にも、今まで見えなかった事が見えて来たように思えます。すなわち、今まで当たり前と思っていた常識が覆り、価値観やものの見方が変わったという良い側面も沢山有るのではないかとこのことです。その代表的な一つがテレワークでしょう。

テレワークは、以前から普及推進が叫ばれていてもなかなか進まなかったにも拘わらず、今回必要に迫られてこれだけ普及しました。実際やってみると、テレワークでも遜色ないことが判り、毎日わざわざ満員電車で長時間乗って出社する必要が無かったということも判りました。すると、会社は高い家賃を払って都心に広いオフィスを構える必要が無くなり、今ほとんど都心のオフィスが空き始めています。また、働く側も、通勤を考慮する必要が無くなり、郊外や故郷に引越す人も出て来たようです。もちろん職種にも依りますが、今まで仕事の場所によって制約されたり我慢したりしていた事から解放されて、自分は何処でどういう風に暮らしたいのか、もっと言えば、どういう風に生きていきたいのかということ再考する人が多くなったように思えます。

所詮この世は無常であり、常識と言われる事でも、時代や社会情勢によって様々に変化し得るものです。さらに、物事には色々な側面があり、見る角度によって良くも悪くも様々に捉えることができるはず。しかし、私たちは自分のはからいで一方的にしか見ようとせず、勝手に一喜一憂しています。だからこそ親鸞聖人は、どんな事が起きようとも、自分のはからいを捨てて、これも阿弥陀様のおはからいと、このご縁を「あるがまま」にいただきなさいと説かれました。どんな事も全て阿弥陀様におまかせするという「自然法爾」のお言葉で表された、聖人が最晩年に至られた境地です。「あるがまま」にいただかせてもらおうと、このコロナ騒動も悪い事ばかりでは無く、痛みは伴うものの、新しい時代に向けて新しい価値観を再構築する為の、良いご縁になったと考えることもできます。聖人のお言葉は、時代を経て尚、私たちが混迷の時代を生き抜く為の指針となるのです。 合掌

永代経法要・中日法要



彼岸の入り前の九月十九日午後七時から、この一年間に永代経をご進納くださった方々をご招待し、浄光寺総永代経法要が営まれました。献灯・献花・献供物の後に読経が始まり、参拝者の方々が順次ご焼香。御文章拝読の後、住職よりご法話があり、本山御用達のお供物（亀屋陸奥「松風」）と記念品が下付されました。永代経は、永代にわたり仏を供養し、み教えが伝わってゆくようにと、できる人ができる時にできる事をさせていたただくという、相互扶助たる「お互い様」の精神をもつて受け継がれて来りました。明日は我が身で、毎年何処かで甚大な災害が起きています。昨日は我が身で、災害復興支援等に役立たせていただいております。十二月十二日午前十一時から、彼岸中日法要をお勤め致しました。新型コロナウイルス感染症予防の為、お勤めは取り止めましたが、いつも通り皆でお勤めできることがなんと有り難いことかと、改めて感謝のお念仏を申しました。「有る事が難しい」から有り難いのです。



西本願寺の七不思議 その一 水吹き銀杏

本願寺の御影堂の左手前に、「水吹き銀杏」と呼ばれる巨大な銀杏があります。この大銀杏は、江戸時代、宝暦九（一七五九）年に大坂の門徒により植えられたそうですが、樹齢は約四百年と推定され、高さ十五m、幹周り7m、枝周り三十mもあります。天明八（一七八八）年、京の都の大半を焼き尽くしたと言われる天明の大火が起きた時に、この大銀杏の葉から水が吹き出して、御影堂等の伽藍を火から守ったという言い伝えから、「水吹き銀杏」と呼ばれるようになりました。また、この大銀杏は「逆さ銀杏」とも呼ばれています。枝が左右に大きく広がっていますが、ある高僧が苗木を間違って逆さに植えてしまったせいで枝が横に広がったのだという言い伝えから、そう呼ばれるようになったそうです。是非ご参拝の折にご覧下さい。

月忌納め法要

（おみがき）
十二月十六日
午後一時より

仏様へ先祖様に一年の感謝を
申し上げます

除夜会法要

十二月三十一日
午後十一時半より

除夜の鐘を
ついでみませんか
豚汁の振る舞いがあります

